

PICC 2019 年度活動報告書

(2019 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日まで)



一般社団法人

公益資本主義推進協議会

Public Interest Capitalism Council

目次

| | |
|---------------------------------|------|
| 1. 会長（代表理事）ご挨拶 | P.02 |
| 2. 公益資本主義について | P.04 |
| ・ 公益資本主義の「三本の矢」 | |
| 3. PICC について | P.05 |
| ・ PICC のビジョン | |
| ・ PICC 団体概要 | |
| 4. 事業の概況について | P.07 |
| ・ 設立から体制づくり | |
| ・ 2019 年のテーマと活動 | |
| ・ 2019 年度の業績概況 | |
| 5. 2019 年度 決算報告 | P.10 |
| ・ 2019 年度 合計貸借対照表 | |
| ・ 2019 年度 合計正味財産増減計算書 | |
| ・ 財務諸表に関する注記 | |
| 6. PICC の委員会活動 会員による「公益資本主義」の実践 | P.13 |
| ・ 数字で見る PICC の実践活動 | |
| ・ 100 年企業研究委員会 | |
| ・ 地域活性化委員会 | |
| ・ 教育支援委員会 | |
| ・ 途上国支援委員会 | |
| ・ 会員交流委員会 | |
| 7. その他の取り組みについてのご紹介 | P.21 |
| ・ 第4回 PICC 優秀事例発表会 | |
| ・ 新「在り方」勉強会について | |
| ・ 「公益資本主義実践度」分析シート | |
| ・ PICC 会員企業における SDGs への取り組み | |
| ・ マイコミュニティフォーラム | |
| 8. 2020 年のテーマと課題 | P.33 |
| ・ 2020 年 PICC テーマ | |
| ・ 2020 年 キーワードと目指すビジョン | |
| ・ 2020 年 重点課題・重点成長分野 | |
| ・ PICC ビジョンの補足 | |
| ・ PICC 会員の在り方 | |

1. 会長(代表理事)ご挨拶

日本経済は、直近こそ新型コロナウイルス感染症対策で先行き不透明感が出てきたものの、リーマンショック以降は多くの分野で安定した経済成長が続いてきました。しかし、「実感が乏しい」好景気と言われる通り、日本人・日本企業からかつてのような元気も自信も感じられない状態が続いています。なぜでしょうか？

その最大の要因は、経済を支える企業が米国型資本主義のルールで経営されるようになってきているからであると、私は考えています。日本中の会社が違和感を覚えながらも「何よりも優先すべきは目標数字を達成することだ」「より短期間でより多くの利益を株主に還元することが企業価値である」という偏った価値観を持ち、「自分さえ良ければ」「今さえ良ければ」という考え方で経営判断を下しているのです。その結果として、黒字リストラ、粉飾決算、商品データの改ざん、談合、ブラック企業等、さまざまなかたちで社会を騒がせる存在となっています。企業は本来の存在意義を忘れてしまったのです。

また、アメリカを猛追する中国では「国家資本主義」が力を付けてきました。しかし、これもやはり「儲けるためならなりふり構わず」というスタンスが強まっており、これから大きな経済成長が期待される近隣諸国への影響を考慮すると、非常に強い危機感を抱いています。

では、企業の本来の存在意義とはどのようなものでしょうか。企業とは本来、社会の困りごとを解決するために存在しています。お客様から選んでいただけるよう、企業はより良い商品・サービスを提供するために努力し、その結果として収益を得ることができるのです。その中から社員へは給与というかたちで、株主へは配当というかたちで利益の一部を分配します。あわせて、企業の事業活動は取引先や仕入れ先の収益にも寄与するものであり、また社員の雇用や納税を通じて地域社会や国の維持・発展にも貢献しているのです。

このように、企業は経済を支える「社会の公器」と言える存在です。すなわち、企業は「社員」のものであり、「顧客」のものであり、そして「株主」のものであり、「取引先」のものであり、「地域」のものなのです。日本では古来、こうした考えを根底に持ち商売が行われていました。

「三方よし」「和を以って貴しとなす」「吾唯足知」、古くから日本に根付くこのような企業の在り方にもう一度、しっかりと目を向けていくことが、今の時代だからこそ必要であると確信しています。

これから世界経済の中心となるべきは、米国型の株主資本主義でも中国型の国家資本主義でもありません。社会全体の利益を考える資本主義、日本型の「公益資本主義」です。

私はこうした考えを日本中に、そして世界中に広げ、変えていくため「公益資本主義推進協議会（以下「PICC」と呼ぶ）」という組織を作りました。

PICC では、「限界が見えてきた現資本主義に成り変わる、新しい日本発の資本主義＝公益資本主義を世界に発信し、地球益に貢献する」をビジョンに掲げ、諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けて様々な活動に取り組んでいます。一つの活動は大きな影響力はありません。しかし、このPICC を、公益資本主義について学ぶ場、実践する場、そして啓発する場として全国に広めていくことによって、必ずどこかで世の中を変えるためのきっかけを作ることができると思っています。

この趣旨に賛同していただける皆様、ぜひ本協議会にご参加いただき、一緒に新しい資本主義の在り方を考えていきましょう。そしてこの「公益資本主義」を、広く世界に発信していきましょう。ご協力よろしくお願いたします。

以上



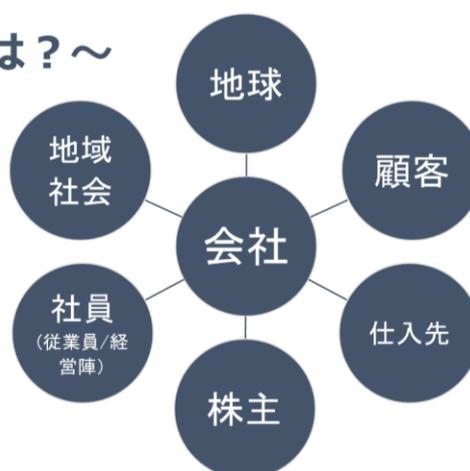
会長（代表理事） **大久保秀夫**

2. 公益資本主義について

PICC の最高顧問である原丈人氏は著書『「公益」資本主義 英米型資本主義の終焉』（文春新書）の中で、公益資本主義について「企業の事業を通じて、その企業に関係する経営者、従業員、仕入先、顧客、株主、地域社会、環境、そして地球全体に貢献する」ような企業や資本主義の在り方と定義しています。

**会社は誰のものか？
企業は社会の公器である。**

社中（Company）とは？～



「公益」と言うと利益を追求するのが悪いことのように思われるかもしれませんが、そうではありません。その逆です。企業を支えるすべての関係者に貢献するため、大いに稼ぎ、持続的に発展していく必要があります。

公益資本主義の「三本の矢」

持続的経済成長を促すため、公益資本主義の「三本の矢」として、次の3つを重視します。

- ① **中長期投資** — 持続的成長を支えるために、中長期的な投資を行う。経営陣は、短期の利益を求めつつも、中長期的な課題にバランスよく取り組む。
- ② **社中分配** — 会社があげた利益を、株主だけではなく、会社を支える社中各員に公平に分配する。こうすることで社会の格差を是正し、貧困層を減らし、層の厚い中間層をつくる。
- ③ **企業家精神による改良改善** — 本業で利益を上げながらも、リスクを取って新しい事業に挑戦し、常に改良改善に努める。

3. PICCについて

一般社団法人公益資本主義推進協議会＝PICC（Public Interest Capitalism Council）とは、公益資本主義を全国に広め、世の中を変えるためのきっかけをつくる活動を推進する協議会です。

公益資本主義の考えに沿った正しい企業の在り方＝「王道経営」を学び、それを実際の事業活動の中で実践することで社業を伸ばし、その有用性について実証していくこと。そして、公益資本主義に賛同する企業経営者を数多く育成・輩出していくことをミッションとしています。

PICCのビジョン

限界が見えてきた現資本主義に成り変わる、
新しい日本発の資本主義＝公益資本主義を
世界に発信し、地球益に貢献する。

そのため、PICC 会員企業がいま為すべきことは、

社会性をベースとした会社・事業を創出し、

独自性のあるビジネスモデルに昇華させる。

同時に、**経済性**も成り立つよう**改良改善**に挑戦する。

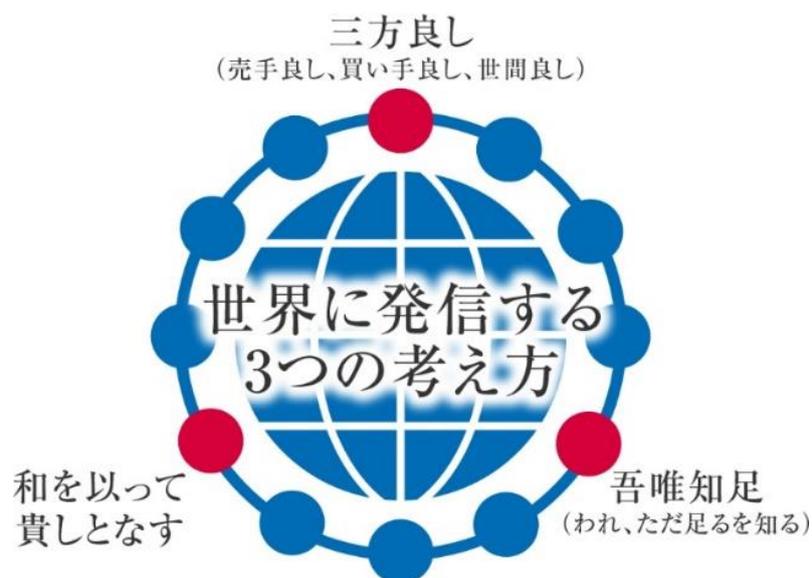
その結果生まれた利益は、社員とその家族、取引先、顧客、地域社会、

株主、つまり社中全体に**公平に分配**していくことで共存共栄を

果たし、**永年続く**企業となることを目指す。

PICC 団体概要

| | | |
|------|--|--------|
| 名称： | 一般社団法人公益資本主義推進協議会 | |
| 設立： | 平成 26 年 1 月 27 日 | |
| 所在地： | 東京都渋谷区神宮前 5 丁目 52 番 2 号 | |
| 目的等： | 諸外国から真に尊敬される日本づくりの実現に向けての活動 | |
| 会員数： | 250 名（2019 年 12 月末、正会員 215 社、U25 会員 35 名） | |
| 支部等： | 宮城支部／東京支部／愛知支部／大阪支部／福岡支部／福島支部設立準備委員会／栃木支部設立準備委員会／広島支部設立準備委員会 | |
| 役員： | 最高顧問 | 原 丈人 |
| | 相談役 | 大島 賢三 |
| | 相談役 | 川原 正孝 |
| | 相談役 | 林 英臣 |
| | 会長（代表理事） | 大久保 秀夫 |
| | 副会長（理事） | 田中 勇一 |
| | 理事 | 阿比留 正弘 |
| | 理事 | 前川 洋一郎 |
| | 理事 | 舘 逸志 |
| | 理事 | 北見 俊則 |
| | 監事 | 佐藤 栄作 |



4. 事業の概況について

設立から体制づくり

PICC は、公益資本主義を実践し、浸透させることで諸外国から真に尊敬される日本づくりを目指して活動しています。2014年の設立当初は、会長である大久保秀夫を中心に日本全国を回り、次世代を担う若手経営者に向けて、現在の資本主義の問題点、企業の本来の在り方、人としての在り方、PICCの目指すこと等について啓発活動を中心に取り組んでまいりました。この結果、全国でPICCのビジョンに賛同する企業に入会していただき、組織の基盤をつくることができました。

2016年には、会員数が一定数を越えた地域に支部を設立し、各地域で具体的活動を展開できる組織作りを行いました。現在は、宮城・東京・愛知・大阪・福岡に支部が設置されています。また、福島・栃木・広島には支部設立準備委員会が立ち上げられ、次の支部化に向けて組織づくりや新規会員獲得に取り組んでいます。

- ✓ 宮城支部
- ✓ 東京支部
- ✓ 愛知支部
- ✓ 大阪支部
- ✓ 福岡支部
- ✓ 福島支部設立準備委員会
- ✓ 栃木支部設立準備委員会
- ✓ 広島支部設立準備委員会



各支部には「100年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の5つの委員会が立ち上げられ、公益資本主義を学び、それを実践するための具体的活動に取り組んでいます。しかし、大きな活動項目は決めていたものの具体的なプランは一から作り上げていく必要があったため、また稼働人員にも過多があるため、各地域や委員会によってその進捗にはばらつきがある状況です。

2019年のテーマと活動

2019年度は『会員およびその社中全体がより成長できる活動の推進 そのためのベースとなる新規会員獲得および育成』をテーマに掲げ、学びの場の拡充および新規会員獲得、委員会活動の集中・強化に取り組んでまいりました。

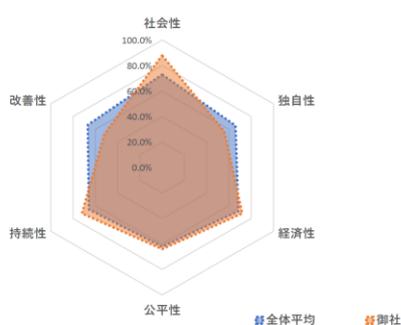
この方針に沿って活動した結果、全ての支部および設立準備委員会で経営者の「在り方」をテーマとした勉強会を開催する体制ができました。あわせて、この学びを個々の会員企業でどれだけ実践できているか把握し、自社の課題発見や目標設定に活用できるツールとして「公益資本主義実践度分析シート」を開発し、試験運用を始めると、学びと実践の場づくりを充実させるための取り組みが進んでいます。

（「公益資本主義実践度分析シート」イメージ）

結果のレビュー

①公益資本主義実践度

| | 社会性 | 独自性 | 経済性 | 公平性 | 持続性 | 改善性 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 平均 | 73.0% | 65.9% | 68.5% | 62.0% | 65.9% | 66.8% |
| 御社 | 88.0% | 56.0% | 72.0% | 64.0% | 72.0% | 52.0% |



②スコア

全体平均： 108.5点
御社： 109.0点
 （順位： **55** /102社中）

御社のスコア内訳

会社の成長： 4点
 経営者の心の在り方： 4点

社会性： 22点
 独自性： 14点
 経済性： 18点
 公平性： 16点
 持続性： 18点
 改良改善性： 13点

① 社中分配の公平性

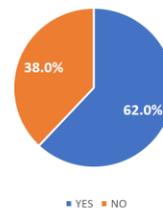
PICC全体の実践度
 YES NO
62.0% **38.0%**

御社の実践度

64.0% → 御社の「公平性」実践度は平均を上回っています

商売で得た利益を「自分良し」「相手良し」「地域良し」と公平に分配することで持続可能な社会づくりに貢献することが、公益資本主義の第一原則です。会社は株主の利益のみを優先するのではなく、社員とその家族・顧客・取引先・地域社会（地球）等、社中全体へ貢献する存在であることを忘れてはいけません。下表「御社の実践度」が赤くなっている項目は、御社の取り組みが全体平均よりも下回っていることを表します。まだまだ改善の余地があると思いますので、ぜひ取り組みについて見直ししてみてください。

- 1- 社員・家族
- 2- 顧客
- 3- 取引先・協力会社
- 4- 地域社会
- 5- 世界・その他



| 全体平均 | | 御社の実践度 | |
|-------|-------|--------|-----|
| YES | NO | YES | NO |
| 67.5% | 32.5% | 100% | 0% |
| 66.9% | 33.1% | 40% | 60% |
| 84.3% | 15.7% | 80% | 20% |
| 52.9% | 47.1% | 80% | 20% |
| 38.4% | 61.6% | 20% | 80% |

正会員については、全国で26社が新規入会した一方、退会は20社にとどまり、入会数が退会数を上回りました。ただし、会費未納による失効会員を除外すると2019年12月末時点の正会員数は昨年より5社減少し215社となります。本部では提供できる会員サービスの充実を図ること、また各支部では入会前・入会後のフォローアップを強化することで、失効者や休会者を含めても純増できる体制づくりに取り組んでまいります。

一方、昨年から始めた18歳以上・25歳未満の若者向けの新しい会員制度「U25」は「マイコミュニティフォーラム」で知り合った大学生を中心に、全国で25名が増え、36名となっています。各支部の勉強会での学び、マイコミュニティフォーラムを中心とする各種活動に参加してもらうことで、マンパワーとしてはもちろん、新たなアイデアやネットワークを提供いただくなど、支部の活性化に大いに力を発揮してくれています。

2019年度の業績概況

このような活動を行った結果、今年度の業績は次のようになりました。

経常収益は前期に比べ259万円増加し2,579万円。主な収益は、支部所属会員を対象としている月会費（1万円/月）とその他の地域の会員を対象としている年会費（3万円/年）。受取会費の金額は前年度とほぼ同額でしたが、イベント協賛金や講演会参加費、受取地方補助金等、会費以外の収入が増えた結果、増収となりました。

しかし、収益が増えた一方、費用の支出も大幅に増加したため253万円の損失となりました（前期は270万円の利益）。会費の一部は、各支部会員が自主的かつ組織的に、本会主旨の活動を展開していくための支部活動費として活用されています。また本部においても、会員や支部会計を管理するためのシステム整備・運用、会議の開催、広報活動等の財源としています。2019年度は、各支部で会員増を見込んだ予算計画となっていたため、前年度よりも勉強会等の開催計画も増え、経費支出が増えました。中間決算を締めた段階で人員計画の進捗が計画を下回っていたため、下期経費の見直しを行い、下期は100万円の黒字に転じたものの、大きな経費支出が上期に集中していたこともあり、通年で挽回するまでには至りませんでした。

5. 2019年度 決算報告

貸借対照表（税込）

2019年12月31日現在

単位：円

| 科目 | 合計 |
|------------|------------|
| 諸口 | 0 |
| 小口現金(本部) | 0 |
| 小口(東京支部) | 32,200 |
| 小口(愛知支部) | 0 |
| 小口(宮城支部) | 891,776 |
| 小口(大阪支部) | 3,655 |
| 小口(福岡支部) | 12,785 |
| 小口(福島委員) | 252 |
| 小口(愛知マイコ) | 129,396 |
| 普通預金(本部) | 2,484,581 |
| 普通(東京支部) | 2,680,929 |
| 普通(愛知支部) | 771,130 |
| 普通(宮城支部) | 198,495 |
| 普通(大阪支部) | 127,980 |
| 普通(福岡支部) | 1,787,294 |
| 普通(愛知マイコ) | 388,120 |
| 普通(福島委員) | 1,985 |
| 現金預金合計 | 9,510,578 |
| 未収会費 | 1,016,824 |
| 前払金 | 1,212,440 |
| 貯蔵品 | 18,000 |
| 立替金 | 0 |
| 前払費用 | 187,422 |
| 仮払金 | 500 |
| 流動資産合計 | 11,945,764 |
| 基本財産合計 | 0 |
| 特定資産合計 | 0 |
| その他固定資産合計 | 0 |
| 固定資産合計 | 0 |
| 資産合計 | 11,945,764 |
| 未払金 | 967,397 |
| 預り金 | 21,441 |
| 仮受け会費等 | 0 |
| 流動負債合計 | 988,838 |
| 固定負債合計 | 0 |
| 負債合計 | 988,838 |
| 指定正味財産合計 | 0 |
| 一般正味財産 | 10,956,926 |
| 正味財産合計 | 10,956,926 |
| 負債及び正味財産合計 | 11,945,764 |

正味財産増減計算書（税込）

2019年1月1日から2019年12月31日まで

単位：円

| 科目 | 本部 | 支部 | 合計 |
|----------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 正会員入会金 | 280,000 | 0 | 280,000 |
| U25入会金 | 72,000 | 0 | 72,000 |
| 正会員年会費 | 2,190,000 | 0 | 2,190,000 |
| 正会員月会費 | 17,520,000 | 0 | 17,520,000 |
| 内振支部活動 | -7,328,200 | 7,328,200 | 0 |
| 講演会等収益 | 50,000 | 1,985,280 | 2,035,280 |
| 受取地方補助金 | 0 | 800,000 | 800,000 |
| 受取利息 | 40 | 54 | 94 |
| 雑収益 | 185,000 | 2,706,017 | 2,891,017 |
| 経常収益計 | 12,968,840 | 12,819,551 | 25,788,391 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 6,298,540 | 13,564,481 | 19,863,021 |
| 諸謝金 | 1,180,772 | 2,414,872 | 3,595,644 |
| 旅費交通費 | 2,531,736 | 928,684 | 3,460,420 |
| 消耗品費 | 286,810 | 145,018 | 431,828 |
| 通信運搬具 | 197,918 | 12,934 | 210,852 |
| システム管理費 | 513,360 | 0 | 513,360 |
| 渉外費 | 0 | 35,292 | 35,292 |
| 会議費 | 367,201 | 262,683 | 629,884 |
| 広報費 | 487,436 | 2,961,089 | 3,448,525 |
| 会場費 | 175,934 | 3,402,460 | 3,578,394 |
| 支払手数料 | 457,403 | 139,454 | 596,857 |
| 支払保険料 | 0 | 32,750 | 32,750 |
| 業務委託費 | 0 | 1,263,000 | 1,263,000 |
| 研修費 | 0 | 453,052 | 453,052 |
| 支払寄附金 | 0 | 163,402 | 163,402 |
| 雑費 | 99,970 | 1,349,791 | 1,449,761 |
| 管理費 | 8,455,438 | 0 | 8,455,438 |
| 旅費交通費 | 301,850 | 0 | 301,850 |
| 消耗品費 | 10,957 | 0 | 10,957 |
| 通信運搬具 | 345 | 0 | 345 |
| システム管理費 | 752,670 | 0 | 752,670 |
| 渉外費 | 100,000 | 0 | 100,000 |
| 会議費 | 32,468 | 0 | 32,468 |
| 広報費 | 4,476,070 | 0 | 4,476,070 |
| 会場費 | 2,285,275 | 0 | 2,285,275 |
| 支払手数料 | 14,153 | 0 | 14,153 |
| 諸会費 | 50,000 | 0 | 50,000 |
| 研修費 | 40,000 | 0 | 40,000 |
| 租税公課 | 1,050 | 0 | 1,050 |
| 顧問料 | 390,600 | 0 | 390,600 |
| 経常費用計 | 14,753,978 | 13,564,481 | 28,318,459 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | -1,785,138 | -744,930 | -2,530,068 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | -1,785,138 | -744,930 | -2,530,068 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | -1,785,138 | -744,930 | -2,530,068 |
| 法人住民事業税 | 70,000 | 0 | 70,000 |
| 当期一般正味財産増減額 | -1,855,138 | -744,930 | -2,600,068 |
| 一般正味財産期首残高 | 6,426,210 | 7,130,784 | 13,556,994 |
| 一般正味財産期末残高 | 4,571,072 | 6,385,854 | 10,956,926 |
| II 指定正味財産増減の部 | 0 | 0 | 0 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 4,571,072 | 6,385,854 | 10,956,926 |

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針
公益法人会計を適用しております。
 - (1) 棚卸資産の評価基準および評価方法
棚卸資産はございません。
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産はございません。
 - (3) 引当金の計上基準
引当金はございません。
 - (4) 消費税等の会計処理
税込方式によっております。
2. 特定資産の増減額およびその残額、財源等の内訳
特定資産はございません。
3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高
固定資産はございません。
4. 実施事業等会計にかかわる資産
実施事業等会計にかかわる資産はございません。
5. 重要な後発事象
ございません。

付属明細書

1. 特定資産の明細
財務諸表の注記に関する記載の通りです。
2. 引当金の明細
財務諸表の注記に関する記載の通りです。

6. PICCの委員会活動 会員による「公益資本主義」の実践

PICC 各支部では、「100年企業研究委員会」「教育支援委員会」「途上国支援委員会」「地域活性化委員会」「会員交流委員会」の5つの委員会が立ち上げられ、さまざまな活動に取り組んでいます。

数字で見るPICCの実践活動

PICCでは全国の支部・会員企業が、さまざまな活動に取り組んでいます。一つひとつの活動は小さいかもしれませんが、積み重ねることによって何か世の中を変えるための一助につながっていくと信じております。2019年度、全国支部やPICC全体で取り組んだ活動を集計し、数字でご紹介いたします。

100年企業研究

- ・企業訪問 1社
- ・勉強会 4回



出前授業

- ・25校 2,663名
- ・勉強会等 8回



MYCO フォーラム

- ・5都市 5回
- ・参加人数 706名



途上国支援

- ・ツアー 3回
- ・勉強会・イベント 5回



地域活性

- ・勉強会 6回
- ・イベント 5回



支部活動

- ・定例会 8都市 97回
- ・委員会 8都市 198回
- ・勉強会 8都市 124回

全国会議

- ・支部長会議 10回
- ・全国委員会 4回



メディア掲載

- ・18媒体 49回



100年企業研究委員会

世界で最も多くの100年企業が存在する日本。これらの企業から経営の本質を学び、自らの経営に取り込むとともに、日本の経営の在り方を広く推奨していく委員会です。100年企業の視察や、経営者をお招きした勉強会などを行っています。

- 書物や講義を活用した研究
- 実際の100年企業への訪問
- 会員企業の100年ビジョンづくり



主な活動実績

| 実施日 | 地域 | 概要 |
|-----------|----|--------------------------------|
| 2019/1/22 | 東京 | 100年企業訪問 山本海苔店（山本泰人 副社長） |
| 2019/1/22 | 福岡 | 勉強会「100年企業に学ぶ企業経営」（松田修 委員長） |
| 2019/2/19 | 愛知 | 定例会・100年企業勉強会 岡谷鋼機（勝田匡彦 元専務） |
| 2019/2/21 | 宮城 | 100年企業勉強会 鈴屋金物（鈴木誠一 社長） |
| 2019/5/24 | 福島 | 定例会 「100年企業の作り方」（荒川産業 荒川健吉 代表） |
| 2019/9/13 | 大阪 | 東大阪市立郷土博物館視察 |

（メディアへのコラム掲載）

| | | | |
|------------|------|-----------------|----------|
| 2019/1/15 | 前川理事 | 日経産業新聞「長寿企業の研究」 | 荒川化学工業 |
| 2019/3/5 | 前川理事 | 日経産業新聞「長寿企業の研究」 | ミロク |
| 2019/4/23 | 前川理事 | 日経産業新聞「長寿企業の研究」 | 虎屋本舗 |
| 2019/6/18 | 前川理事 | 日経産業新聞「長寿企業の研究」 | シャボン玉石けん |
| 2019/8/6 | 前川理事 | 日経産業新聞「長寿企業の研究」 | 総本家駿河屋 |
| 2019/9/24 | 前川理事 | 日経産業新聞「長寿企業の研究」 | 荒川産業 |
| 2019/11/19 | 前川理事 | 日経産業新聞「長寿企業の研究」 | 穴倉 |

地域活性化委員会

日本創生の原点となる地域振興。さまざまな分野から地域の活性化を研究・実践する委員会です。NPO 法人『元気な日本をつくる会』が展開する官民連携事業等、地域活性に取り組む他団体との連携も含め、公益資本主義の考えを活かした地域活性化を推進しています。

- 地域課題や他地域における活性化事例の研究
- 地域活性に取り組む団体との連携
- 地域活性学会との連携
- 地域の学生／企業／自治体／学校等との連携
- 地域活性化のための企画／実行



主な活動実績

| 実施日 | 地域 | 概要 |
|------------|----|---|
| 2019/1/18 | 大阪 | 講演会「生野区の地域活性化について」(武直樹 大阪市議員) |
| 2019/3/19 | 大阪 | 講演会「多様性で地方を変え、日本を変える最年少市長の挑戦。」 (四條畷市 東修平 市長) |
| 2019/8/23 | 福島 | 定例会 「今3.11を振り返り ここからのふくしまを創る」 (重松製作所 濱田昌彦 氏) |
| 2019/9/14 | 本部 | 全国地域活性化委員会 |
| 2019/9/27 | 福島 | 定例会 「健康の在り方を考える義肢装具士がみる日本人の足」 (ファーストヘルステック 松野由恵 氏) |
| 2019/10/13 | 福島 | ぼくらの音楽祭 ※台風のため中止 |
| 2019/10/19 | 広島 | 山口県災害備蓄プロジェクト発足式・引取式 |
| 2019/10/25 | 福島 | 定例会 「本日開店の心」(太郎庵 目黒徳幸 代表) |
| 2019/10/28 | 大阪 | 地域団体やおんどとの共同会議 |
| 2019/11/4 | 福岡 | 九州レインボープライドへの参加 |
| 2019/11/22 | 福島 | 定例会 「神様に喜んでもらうことで経済を動かす」 (リバーブ 小野寺光広 代表) |

※ 上記の他、支部によってマイコミュニティフォーラムや地域イベントの企画・運営について取り組んでいます。

教育支援委員会

子供は未来の財産です。学力の低下に加え、夢や希望が持てない日本の子ども達に経営者からの視点で教育を推進する委員会です。教育と子育ては地域ぐるみで行うことと考え、「出前授業」などの活動を積極的に展開しています。「働くとはどういうことか?」「社会における企業の役割」「志や目標を持つことの大切さ」等をテーマに、企業経営者が自身の経験や想いを直接伝えることで、これから社会に出てゆく子供たちに働くことの意味や将来の夢を考えるきっかけを作ることが狙いです。2019年は25校、2,663名の学生に向け、出前授業を行っています。



- 出前授業の実施
- 職場体験の受け入れ
- マイコミュニティフォーラムで知り合った学生への教育
- 新たな教育支援手法（将来型授業、夢ケーキ等）の研究

主な活動実績

| 実施日 | 地域 | 概要 |
|-----------|----|--------------------------|
| 2019/1/16 | 愛知 | 出前授業 愛知県立加茂丘高等学校 1・2・3年生 |
| 2019/1/16 | 大阪 | 出前授業 ECC 学園高等学校 3年生 |
| 2019/1/16 | 福岡 | 出前授業 福岡市立席田中学校 1年生 |
| 2019/1/17 | 宮城 | 出前授業 仙台市立東六番丁小学校 6年生 |
| 2019/1/22 | 福岡 | 出前授業 福岡市立八田小学校 6年生 |
| 2019/2/1 | 宮城 | 出前授業 石巻市立桃生中学校 1年生 |
| 2019/2/16 | 大阪 | お仕事セミナー 堺市児童養護施設 |
| 2019/2/18 | 大阪 | 出前授業 東大阪市立意岐部小学校 6年生 |
| 2019/2/21 | 宮城 | 出前授業 石巻市立青葉中学校 1年生 |
| 2019/2/22 | 大阪 | 出前授業 八尾市立山本小学校 6年生 |
| 2019/2/28 | 福岡 | 出前授業 苅田町立新津中学校 2年生 |
| 2019/3/11 | 東京 | 出前授業 幸田町立幸田北部中学校 1年生 |
| 2019/3/13 | 愛知 | 出前授業 岐阜市長良西小学校 6年生 |
| 2019/3/14 | 大阪 | 出前授業 泉大津市立小津中学校 1年生 |
| 2019/3/19 | 愛知 | 出前授業 愛知県立半田高等学校 1・2年生 |
| 2019/4/24 | 愛知 | 出前授業 岐阜市立長良西小学校 5・6年生 |
| 2019/6/21 | 東京 | 招来型授業「就活前に仕事を考える！」 |
| 2019/6/25 | 愛知 | PICC 出前授業導入講座 |
| 2019/6/26 | 福岡 | 定例会 高校生とともに学ぶSDGs カードゲーム |
| 2019/6/28 | 愛知 | 出前授業 瀬戸市立水野中学校 1・2年生 |

| | | |
|------------|----|----------------------------|
| 2019/7/3 | 愛知 | 出前授業 愛知県立知立東高等学校 3年生 |
| 2019/7/23 | 愛知 | 出前授業 愛知県立愛知総合工科高等学校 1年生 |
| 2019/7/31 | 愛知 | 出前授業 愛知県立豊田工業高等学校 1年生 |
| 2019/9/5 | 福岡 | 出前授業 福岡市立吉塚中学校 |
| 2019/9/19 | 福岡 | キャリア教育活動「ジョブ tavi」への協力 |
| 2019/10/9 | 福岡 | 出前授業 福岡市立多々良小学校 6年生 |
| 2019/10/30 | 宮城 | 出前授業 石巻市立青葉中学校 1・2・3年生 |
| 2019/11/12 | 愛知 | 出前授業 瀬戸市立南山中学校 |
| 2019/11/24 | 大阪 | 夢ケーキ・夢授業 |
| 2019/11/29 | 東京 | 出前授業 神奈川工科大学 |
| 2019/11/30 | 愛知 | 高浜市学習支援事業ステップ 「しっとく！お仕事講座」 |
| 2019/11/26 | 大阪 | 学生団体「はちのじ」への理念研修 |

途上国支援委員会

国の基本は教育です。経済や文化の領域で将来のパートナーとなる途上国に対して、教育や自立支援をサポートしています。教師団の派遣や幼小中高一貫校設立などに取り組む CIESF と連携し、途上国支援の在り方を学び、実践します。

- CIESF 支援
- 途上国進出の検討／実施
- 留学生受け入れ
- 他の途上国支援団体の研究／協力
- CRM 手法の研究／実践



主な活動実績

| 実施日 | 地域 | 概要 |
|------------|-----|---|
| 2019/1/8 | 東京 | 定例会 「カンボジアとわたしたち」(テラルネッサンス 鬼丸昌也 創始者、クラタペッパー 倉田浩伸 社主、アメージングカンボジア 温井和佳奈 社長) |
| 2019/1/31 | 東京 | CIESF 勉強会 カンボジア 教育編・人材編 |
| 2019/3/7 | 愛知 | 途上国支援委員会 「カンボジアで起業する事」(SUIJOH 浅野佑介 代表) |
| 2019/4/26 | 東京 | 交流会「クラタペッパー倉田社主と呑もう！」 |
| 2019/5/2 | 広島 | 笠戸島トレイルラン・BBQ |
| 2019/6/6 | 各支部 | カンボジアツアー、CIESF リーダースアカデミー竣工式他 |
| 2019/6/23 | 大阪 | 定例会 「SDGs カードゲーム 世界とのつながりを体験」 |
| 2019/9/2 | 愛知 | ミャンマー・カンボジア視察ツアー |
| 2019/9/29 | 東京 | グローバルフェスタ CIESF ブースで講演 |
| 2019/11/13 | 東京 | テラルネッサンス 鬼丸昌也 創始者 講演 |
| 2019/11/27 | 愛知 | カンボジアツアー |

会員交流委員会

会員活動の基盤となる公益資本主義。その考え方を学び、経営者本来のあり方を身につける「在り方」勉強会の普及を図る委員会です。また、各支部定例会を通じて会員相互の交流（親睦・ビジネス）を促すとともに、全国各地の支部との交流会も開催しています。

- 公益資本主義の学び
- 「在り方」「やり方」勉強会
- 魅力ある定例会の企画／運営
- 新規会員の勧誘／教育
- 会員企業の魅力発掘／発信
- 会員交流



主な活動実績

| 実施日 | 地域 | 概要 |
|-----------|----|--|
| 2019/1/22 | 広島 | 徳山大学経営者講義 「食のカルビー 今後の国際事業戦略と働き方改革」 (カルビー 笹啓英 執行役員) |
| 2019/1/23 | 宮城 | 定例会・官民連携事業勉強会 |
| 2019/1/25 | 福島 | 定例会「街ごとホテルって何？ SEKAI HOTEL って何？ クジラの挑戦」 (大阪 矢野浩一 副支部長) |
| 2019/1/25 | 福島 | 勉強会「日本人としての使命とは」、在り方事例発表 (セラピーミュージック Diva 佐藤玲奈 氏) |
| 2019/2/5 | 福島 | お話し会「日本人の生き方」(ヒスタワークス 大原光秦 代表) |
| 2019/2/12 | 東京 | 定例会・特別講演「最強のシンプル経営！」(コンパス 鈴木進介 代表) |
| 2019/2/13 | 大阪 | 大久保会長支部訪問／大阪支部実践事例発表 |
| 2019/2/19 | 福島 | 異業種交流会 |
| 2019/2/20 | 宮城 | 定例会 第1回学生交流勉強会「学生×経営者 SDGs を学ぶ会」 |
| 2019/2/22 | 福島 | 勉強会「外国人技能実習制度」 |
| 2019/2/26 | 福岡 | ミニセミナー「働き方改革について(2019年改正労基法のポイント)」 (社会保険労務士法人マッチアップ 松田修 所長) |
| 2019/3/12 | 東京 | 定例会 「マーケティングとは？ 中小企業にマーケティングは必要か？」 |
| 2019/3/15 | 本部 | 社員総会／PICC 優秀事例発表会 |
| 2019/3/16 | 本部 | 第1回 MYCO 全国大会 |
| 2019/3/19 | 広島 | 定例会「働き方改革施工に伴う経営戦略」 (アクエドル社会保険労務士法人 船津代表) |
| 2019/3/22 | 福島 | 勉強会「大切なことを大切に作る組織創り」(菓匠 Shimizu 清水慎一 社長) |
| 2019/3/25 | 大阪 | 勉強会 「公益資本主義の視点から見る働き方改革」 (さくら HumanPlus 阪口小百合 代表) |
| 2019/3/26 | 山口 | 定例会 「企業賠償にいて」(合同会社ほけんプラザ 坂田王将 代表) |

| | | |
|-----------|-------|---|
| 2019/4/9 | 東京 | 定例会 公益資本主義の実践/Cause-Related Marketing |
| 2019/4/11 | 福岡 | 福岡支部 2019 花見 学生交流会 |
| 2019/4/12 | 大阪 | 定例会 「社員向け公益資本主義入門編」(クジラ 矢野浩一 代表) |
| 2019/4/16 | 本部 | PICC 支部長勉強会「天分と公益～松下幸之助翁が求めた新しい経済思想とは～」 (林英臣 相談役) |
| 2019/4/16 | 愛知 | 定例会「証券マンとして 30 年、その中で培った投資の考え方！」 (FLSJapan 合同会社 増田貴哉 代表) |
| 2019/4/20 | 栃木 | 全国ゴルフコンペ |
| 2019/4/23 | 福島 | 異業種交流会 |
| 2019/4/26 | 福島 | お話し「健康のあり方を考える！！毛細血管からみる健康予防の重要性」 (SSC 齋藤由喜 専務) |
| 2019/5/14 | 東京 | 定例会 「下町ボブスレーの挑戦！」(マテリアル 細貝淳一 代表) |
| 2019/5/21 | 東京 | miniMYCO「ダイナマイトプレスト村尾塾」 |
| 2019/5/21 | 愛知 | 定例会・SDGs ゲーム |
| 2019/5/22 | 大阪 | 定例会 「天分と公益～松下幸之助翁が求めた新しい経済思想とは～」 (林英臣 相談役) |
| 2019/5/24 | 福岡・広島 | 合同定例会「銀行との付き合い方」(福岡支部 飯田剛也 支部長) |
| 2019/5/25 | 福岡・広島 | 合同ゴルフコンペ |
| 2019/5/25 | 宮城 | 第 17 回マイコミュニティフォーラム 学生×SDGs カードゲーム |
| 2019/5/28 | 広島 | 山口定例会 徳山大学学生&起業家講義 |
| 2019/5/30 | 宮城 | U25 サポート会議 |
| 2019/6/8 | 大阪 | 知覧研修 |
| 2019/6/11 | 東京 | 定例会 「20 年続く社長の仕事 133 箇条」他 (レジェンドグループ 國武栄治 会長) |
| 2019/6/16 | 宮城 | U25 勉強会・交流会 |
| 2019/6/18 | 愛知 | 定例会「本業を通じて社会課題を解決する、新しい雇用の創造とは…」 (ラポールヘア・グループ 早瀬渉 社長) |
| 2019/6/22 | 東京 | miniMYCO「新社会人と大学生交流会」 |
| 2019/6/23 | 大阪 | 「U25ORN (ユニコーン)」キックオフ |
| 2019/6/26 | 宮城 | 定例会 高山 高山智壮 常務による勉強会 |
| 2019/7/5 | 広島 | 大久保会長訪問 |
| 2019/7/18 | 大阪 | 定例会 会員企業実践発表 (KUROKAWA 黒川芳秋 社長) |
| 2019/7/21 | 福岡 | 家族懇親ポーリング大会 |
| 2019/7/22 | 東京 | miniMYCO「空家問題から考える地域活性化フォーラム」 |
| 2019/7/24 | 宮城 | 定例会 「天分と公益～松下幸之助翁が求めた新しい経済思想とは～」 (林英臣 相談役) |
| 2019/8/18 | 大阪 | 親子バーベキュー大会 |
| 2019/8/27 | 愛知 | 全国支部長会議・愛知支部定例会 「先人に学ぶ危機に強い経営」(北康利 氏) |
| 2019/8/27 | 福岡 | 定例会「採用について」(カウテレビジョン 高橋康徳 社長) |

| | | |
|------------|-------|--|
| 2019/9/14 | 福岡 | 第18回マイコミュニティフォーラム with こどもばんぱく ありがとうを生み出す感動、誰かに喜んでもらう体験 |
| 2019/9/15 | 本部 | 世界青少年「志」プレゼンテーション大会に大久保会長・北見理事が参加 |
| 2019/9/18 | 大阪 | 定例会 「大阪と公益～失われたアークを求めて～」 (松井製作所 松井宏彰 専務) |
| 2019/9/21 | 大阪 | 第19回マイコミュニティフォーラム みんな『知りたい』ことがある |
| 2019/9/30 | 栃木 | SDGs 勉強会 |
| 2019/10/16 | 本部 | PICC 支部長勉強会「経営道 100 の教え」(日本経営道協会 市川寛峯 代表) |
| 2019/10/16 | 東京 | 定例会 会員事例勉強会 (ureru 近藤和久 社長)、ミニ志プレゼン大会 |
| 2019/10/21 | 大阪 | 講演「主役は住民と職員。輝く市政のつくりかた」(四條畷市 東修平 市長) |
| 2019/10/23 | 宮城 | 特別定例会 「クリティカル・シンキング」 体験勉強会 (グロービス経営大学院 佐野友昭 氏) |
| 2019/10/25 | 大阪 | U25 ミーティング |
| 2019/10/25 | 福岡・広島 | 合同定例会 「世界初！人間関係を戦略に変える！」 (ISD エデュケーションズ 服部マサト 代表) |
| 2019/10/26 | 福岡 | 全国ゴルフコンペ |
| 2019/10/29 | 広島 | 王道経営体験勉強会 「社会性がどれだけ重要か」 |
| 2019/11/9 | 愛知 | 第20回マイコミュニティフォーラム 東海学生 AWARD ～若者の熱い思いを大人が応援するイベント～ |
| 2019/11/12 | 東京 | 定例会 映画「あまのがわ」鑑賞&古新舜監督 講演 |
| 2019/11/17 | 大阪 | 定例会 可能性無限大講演会(講演家 ピース小堀 氏) |
| 2019/11/19 | 愛知 | 定例会 「PICC 流 企業の在り方」「経営者のための財務セミナー」 (福岡支部 飯田剛也 支部長) |
| 2019/11/21 | 大阪 | U25 ミーティング |
| 2019/11/23 | 大阪 | U25 ミーティング |
| 2019/11/26 | 広島 | 王道経営体験勉強会 「自社の社会性を掘り下げる」 |
| 2019/12/6 | 大阪 | 大久保会長 支部訪問 |
| 2019/12/7 | 広島 | 第21回マイコミュニティフォーラム 人間力 × 挑戦 ～変わりゆく社会、変えていく自分～ |
| 2019/12/9 | 山口 | 徳山大学講義 「コラボで地域のモノづくりを活性化」 (BEAMS 創造研究所 南馬越一義 氏) |
| 2019/12/17 | 広島 | 王道経営体験勉強会 「独自性を洗い出す」 |
| 2019/12/19 | 大阪 | U25 ミーティング |
| 2019/12/27 | 福島 | 定例会 勉強会「天分と公益」～松下幸之助翁が求めた新しい経済思想とは～ (林英臣 相談役) |

※ 上記の他、本部では支部長会議を、各支部では定例会や「在り方」「やり方」勉強会・懇親会を毎月開催しています。

7. その他の取り組みについてのご紹介

第4回 PICC 優秀事例発表会

2020年3月17日、一般社団法人公益資本主義推進協議会は社員総会を開催、議案として上程していた2019年度決算および役員選任は原案どおり承認可決されました。

議事後には、会長である大久保秀夫から「経営者が持つべき死生観と魂の決断」をテーマに講演があり、参加者一同、経営者にとって本当に大切にすべき根源的な在り方について再確認することができました。



また、総会後は今回で4回目となる優秀事例発表会を開催し、全国から選抜された6名の会員による活動事例のプレゼンテーションが行われました。

【優秀事例を発表いただいた会員の皆様】

1. MYCO フォーラム部門
福岡支部 高橋 康徳（株式会社カウテレビジョン）
2. 社中分配部門
大阪支部 矢野 浩一（クジラ株式会社）
3. 公益資本主義の実践部門
福島設立準備委員会 太田 大（株式会社せいふうケア）
4. 委員会活動部門（教育支援）
福岡支部 権堂 千栄実（株式会社 Campanula）
5. MYCO フォーラム部門
愛知支部 加藤 克弘（有限会社トリオ商事）
6. 社中分配部門
福岡支部 藤木 寛人（株式会社エミシス）

その中で最も優れたプレゼンターとして、株式会社カウテレビジョンの高橋康徳さん（福岡支部）に「2019 PICC MVP 賞」が贈呈されました。高橋さんからは、福岡支部で昨年実施したマイコミュニティフォーラムについて、支部を代表してご紹介いただいています。「ありがとうの連鎖」というテーマ、またこれまで屋内で開催してきたフォーラムをデパートの広場というオープンスペースで開催したチャレンジ精神、学生が中心となり幅広い世代がいろいろなかたちで協力・参加して地域コ

コミュニティを作り上げた実践内容、そして、それをまとめてきた高橋実行委員長による熱いプレゼンテーションが高く評価されての受賞となります。



「2019 PICC MVP 賞」を受賞された高橋康徳さんより

MVPを受賞することができ、驚いています。昨年の優秀事例発表会では、我らが飯田支部長に何も賞を獲らせることができず、非常に悔しい思いをしました。この一年間、私はマイコミュニティフォーラムで、また他の会員もそれぞれの担当委員会で、「今年の優秀事例発表会では飯田支部長に何か持って帰ってもらおう」という思いが、皆が頑張ってくられた共通の原動力だったと思います。そういう意味で今回、このような素晴らしい賞をいただくことができ、嬉しく思います。これから「PICCの南に福岡支部あり」ということを、強く自覚をもって取り組んでいきたいと思っています。これからも頑張っていきたいと思います。本日はありがとうございました。

また、福岡支部には「2019年度 最優秀支部賞」が贈られています。これまでずっと宮城支部が連覇していた栄冠が、初めて福岡支部の手に渡りました。こちらの賞は活動毎に付与される支部活動ポイントと優秀事例発表会予選で獲得した評価ポイントを合算し、合計点数が最も高かった支部に贈られる賞です。毎月の委員会活動や勉強会、会員各社での実践活動



など、幅広い分野での活躍が評価されました。

「最優秀支部賞」を受賞された福岡支部を代表し、飯田支部長より

福岡支部全員で「頑張ろうね」と取り組んできた結果だと思います。特にU25 会員である学生は、本当に頑張ってくれました。福岡支部はとにかく仲良く、元気に、やるべきことは一生懸命やっていこうと取り組んできました。中でも、MVP を受賞した高橋さんは、「オープンスペースでマイコミュニティフォーラムをやろう」と、普通では考えられないことを考え、そのために博多大丸のオープンスペースを無料で使わせていただくという、普通ではできないことまで実行してくれました。本当に仲間を支えられての受賞だと思っています。今回の受賞、とても嬉しく思います。ありがとうございました。

今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、開催が危ぶまれましたが、参加者を理事および各支部の責任者、優秀事例発表会の登壇者のみに規模を縮小しての開催といたしました。このような時期だからこそ、「一年間の取り組みについて、熱意をもってしっかり伝えたい」「元気を出してやろう」という参加者の想いが結集し、例年に劣らず活気のある会とすることができました。また、残念ながら参加できなかった会員向けには、会の模様を ZOOM で配信するなど、新しい取り組みにチャレンジすることもできました。

経営や人生において、今回のような逆境は必ずあります。PICC 会員はそんな中でも嘆いたり、慌てふためいたりするのではなく、「今できることはなにか」「今なすべきことはなにか」を考え、王道で取り組んでいこうということを確認し、それぞれの支部に戻りました。今年も地球益に貢献する経営者の会として、全国各支部、それぞれの会員企業で公益資本主義の実践にチャレンジしてまいります。



新「在り方」勉強会について

PICC 会員の第一の役割は、自ら経営する会社で「王道経営」を実践し、利益を出し、雇用を生み出し、税金を納めてもらうことです。これができるようになって初めて「三方よし」、社員とその家族・顧客・取引先・株主・地域社会に幸せを分配することが可能になるからです。

2018年度から、まず経営者としての「在り方」について十分理解し、会員自らが語れるようになることを目指して新「在り方」勉強会をスタートさせました。PICCの会員企業が社業を発展させる上でも、新たに公益資本主義を学び・実践し・広げていく仲間を増やす上でも、重要な取り組みとしてとらえています。以前のように会長である大久保が自ら講師となって教えるのではなく、大久保から「在り方」を教わったことのある会員が、各地で講師となり、他の会員の教えるという形式を取っています。将来的には全会員が講師として立てるようになり、PICCの魅力をPRする一翼を担うことを目指します。

新「在り方」勉強会のカリキュラム

- ・(第1回) 公益資本主義・大久保秀夫のルーツを知る
- ・(第2回) 人生で成功するたった一つの方法『決断』
- ・(第3回) これからの企業経営のあり方 CRM 編
- ・(第4回) これからの企業経営のあり方 BOP 編
- ・(第5回) 成功者に共通する8つの法則 Part1
- ・(第6回) 成功者に共通する8つの法則 Part2
- ・(第7回) 大久保秀夫流 18の法則
- ・(第8回) 成功する経営者になる為に必要な25の思考と行動

「公益資本主義実践度」分析シート

PICC 会員企業がこれまで抱えていた悩みの一つとして、「自社でどれくらい公益資本主義の実践ができているか判断できない」「公益資本主義の実践について、何から手を着けよいか見当がつかない」というものがありました。当然これは「公益資本主義」が世の中から認知され、浸透していく過程でも同じ壁にぶつかることが容易に想像されます。

そこで、毎月開催している PICC 支部長会議の中で「企業の公益資本主義実践状況を把握するためのツール」について議論をし、テスト版を作成し、まずは会員企業向けにリリースいたしました。

公益資本主義の基本原則である「公平性（社中分配）」「持続性」「改良改善性」、そして王道経営の在り方を成す「社会性」「独自性」「経済性」の6つの視点から企業や経営者の具体的な取り組みについて設問を設け、自社の実践状況について YES/NO の二択で選んでもらうことで、その会社の実践度を指標化するものです。

【調査概要】

○本分析シートの実施目的：

- ①自社の「公益資本主義実践度」を確認し、さらなる実践につなげる
- ②「公益資本主義」実践ができている会員企業を見出し、学びを得る
- ③「正しい企業の在り方を構築し、企業を正しく評価するための仕組みを作る」
に向き合う第一歩とする
- ④会員の現況について把握し、会の運営や勧誘、アドバイス等に活用する
- ⑤会員のSDGsへの取り組みを把握する

○実施時期： 2019年11月～2020年2月末日

○実施方法： WEBフォームを使って各社で入力

○回答総数： 102件

○従業員数： 平均34.6名

○社歴： 平均19.4年

【全体結果のレビュー】

○基礎情報：

会社が成長していることを肯定的に捉えている会員： 75.3%

経営者自身の心の在り方を肯定的に捉えている会員： 84.7%

○「王道経営の基本原則」の実践度（全体平均）：

社会性： 73.0%

独自性： 65.9%

経済性： 68.5%

○「公益資本主義の基本原則」の実践度（全体平均）：

社中分配の公平性： 62.0%

中長期視点に基づいた会社の持続性： 65.9%

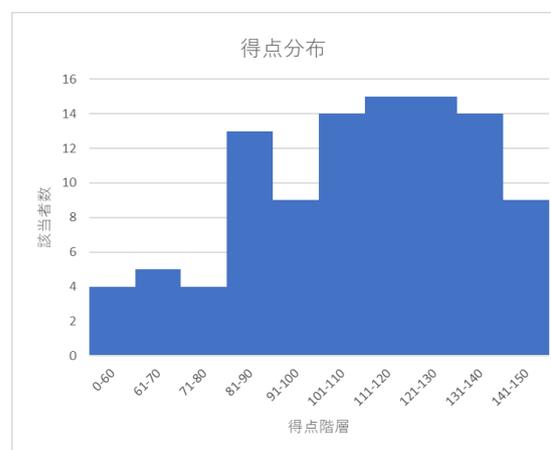
企業家精神による事業創造と事業の改良改善性： 66.8%

○全体の得点状況：

平均 108.5点 ※160点満点

最高 148点

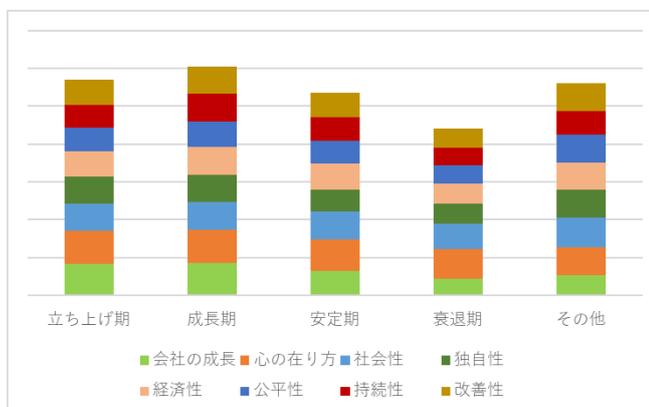
最低 11点



○会社フェーズによる実践度の違い:

会社フェーズ別に、実践度を指数化した数値を積み上げて比較してみました。

立ち上げ期から成長期は実践度が上がりますが、安定期→衰退期とフェーズが進む程、実践度が下がる傾向が確認できました。特に「独自性」「持続性」が大きく下がるという結果です。逆に考えると、実践をしていないから安定・衰退へ向かっていると考えることもできるのではないのでしょうか。まだ根拠となるものは確認できていませんが、一つの可能性として今後、注目していきたいと考えています。



○今後、PICC・会員企業で取り組むべきテーマについての考察:

各実践項目の全体平均について、「90%以上」「89～70%以上」「69～60%以上」「59～50%以上」「50%より下」の5つの階層に分け、それが「社会性」「独自性」「経済性」「公平性」「持続性」「改善性」のカテゴリー別にいくつ存在しているか分析しました。

それぞれ最も該当者が多いカテゴリーに注目すると、実践項目によって大きく違いが見えてきます。

実践度が高い回答が集まっている項目: 「社会性」「独自性」「改善性」

実践度が低い回答が集まっている項目: 「公平性」「持続性」

| 実践度 | | 90%以上 | 70%以上 | 60%以上 | 50%以上 | 50%より下 |
|-------------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|
| 王道経営の基本原則 | 社会性 | 10 | 5 | 2 | 3 | 5 |
| | 独自性 | 1 | 11 | 5 | 5 | 3 |
| | 経済性 | 6 | 4 | 8 | 3 | 4 |
| 公益資本主義の基本原則 | 公平性 | 4 | 5 | 5 | 2 | 9 |
| | 持続性 | 4 | 3 | 7 | 9 | 2 |
| | 改善性 | 1 | 9 | 8 | 3 | 4 |
| 合計 | | 26 | 37 | 35 | 25 | 27 |

今回の結果を参考に、本部および各支部で何を学んでいくかを検討していく計画です。まずは全体の実践度が40～60%前後にとどまる項目の中から、会員企業の実践事例共有を進め、学ぶ機会を作ること全体の底上げを図っていきたいと考えています。

PICC 会員企業における SDGs への取り組み

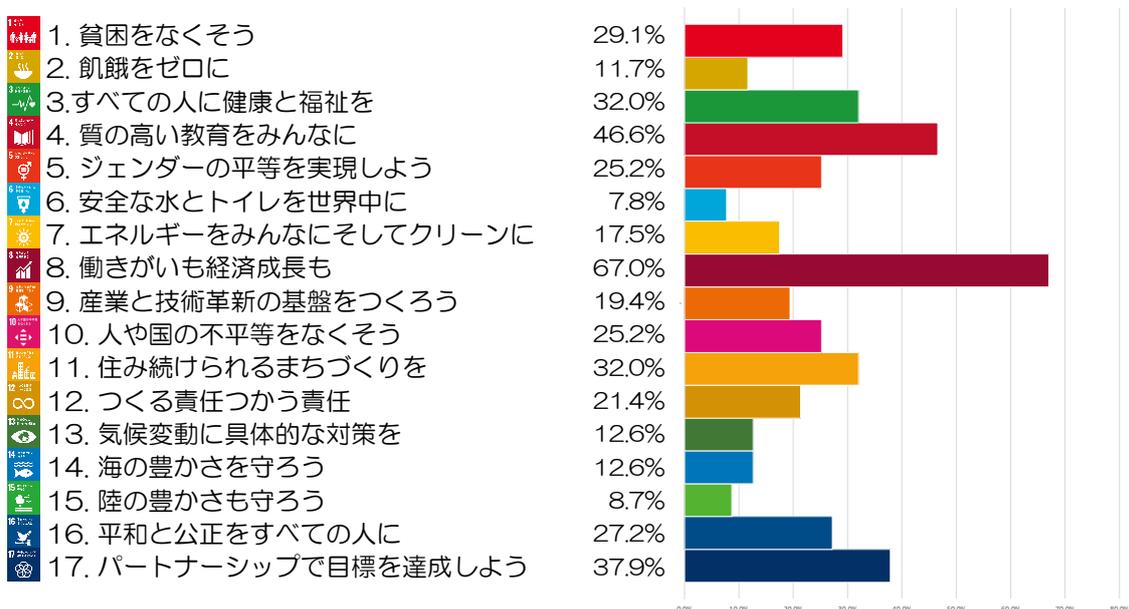
SDGs は「持続可能な開発目標」と訳され、国連サミットが 2015 年に採択した世界の共通目標です。国連はその推進役として企業に大きな期待を寄せています。メディアなどでも広く紹介され、国内における認知度も年々高まってきています。

実際、企業の発行する印刷物や Web ページに掲載される SDGs のロゴマーク、ビジネスマンの胸元に光る SDGs バッジを見る機会は確かに増えました。しかし、企業における実際の取り組み状況はよく見えてきません。2019 年 12 月には日本経済新聞が「SDGs 経営調査」を発表していますが、本調査の対象は上場企業と従業員 100 人以上の非上場企業にとどまります、日本で 99.7%を占める中小企業の実態はほとんど見えてきません。

そこで PICC では会員企業の SDGs の取り組み状況について調査を行い、会員が 17 の目標にどれだけコミットしているのか確認いたしました。

公益資本主義は、株主のみならず顧客・従業員・取引先・地域社会などすべてのステークホルダーに利益を還元し、中長期的な視点で開発投資を行うことで持続的な成長を目指し、地球全体の利益「地球益」に貢献するという考え方です。SDGs との親和性は高く、一般の中小企業よりスコアは高いと予測しました。結果は以下の通りです。

【自社で取り組んでいる SDGs の取り組みについて、あてはまるものすべてにチェックしてください。(複数回答可)】



本調査では回答企業 103 社のうち 94.2%が、何らかの形で SDGs に取り組んでいることが分かりました。多寡はありますが 17 の目標すべてに対し、PICC 会員企業が何らかの形で関与しています。最も多かったのは「働きがいも経済成長も」67%、次いで「質の高い教育をみんなに」46.6%。主に「人」を尊重する目標へコミットしている傾向が強いことが読み取れます。一社平均、4.34 個の目標へのコミットをしており、予想以上に SDGs に対する意識が高く、実際の取り組みも進んでいることが明らかになりました。

マイコミュニティフォーラム



2016年12月から始めた「マイコミュニティフォーラム」もPICC全国支部の取り組みとして定着しました。代表世話人としてNEWS ZEROのメインキャスターを務めていた村尾 信尚 氏に、またPICC役員からも田中副会長、館理事ご協力いただきながら、日本各地で若者に気付きを与えるためのフォーラムを開催しています。

マイコミュニティフォーラムの目的は、若者の地域に対する意識のスイッチを“オフ”から“オン”にすること。自分たちの力で「国や未来は変えることができるんだ」ということに気付いてもらうため、まずは自分が住んでいる地域でどんな取り組みが行われているか、目を向けてもらい、私の社会のために何かできること、参加してみたいと思えることを見つけてもらうためのヒントを提供したい、そんな思いで企画しております。

各地域のPICC会員が中心となり、近隣の学校、学生、経営者、NPO、企業、議員等と協力しながら、様々なテーマ・プログラムを提供してまいりました。

はじめに村尾信尚氏から『私の社会をつくるための2つの券』をテーマに、「私たちは社会を変える2つの券、投票券と日本銀行券を持っている」ということを平易に解説。その後は参加する若者のニーズに合わせパネルディスカッションや講演等が行われるのが、基本のフォーマットになっています。回を重ねる度に、一方的に聞くだけでなく、聴衆も一緒に参加できるワークショップ型の取り組みが採用されたり、学生が自らの活動を発表するプレゼンテーション大会が行われたり、回を重ねるごとに各地域で趣向を凝らしたフォーラムへと進化を遂げてきました。

講演を通じて、参加者が自分と地域・社会との関係性について気付きを得ることができると同時に、自分自身は地域や社会に対してどのようなことができるのかについて考え、初めて出会った人に発言したり、一緒になって議論したりできる新しいコミュニケーションの場として、来場者から高い満足度評価をいただくことができています。

2019年12月までに全国6都市で21回開催し、2,689名の方に参加いただくことができました。

【2019年の開催実績】

① 第17回マイコミュニティフォーラム in 宮城

2019年5月25日(土) 13:30~16:30

場所：東北学院大学 土樋キャンパス8号館

テーマ：学生×SDGs カードゲーム

参加者：59名



② 第18回マイコミュニティフォーラム in 福岡 with こどもばんぱく

2019年9月14日(土) 10:00~16:00

場所：博多大丸・パサージュ広場

テーマ：ありがとうを生み出す感動、誰かに喜んでもらう体験

参加者：277名



③ 第19回マイコミュニティフォーラム in 大阪

2019年9月21日(土) 14:00~17:00

場所：イケマンカンファレンスホール

テーマ：みんな『知りたい』ことがある

参加者：50名



④ 第20回マイコミュニティフォーラム in 愛知

2019年11月9日(土) 13:00~18:00

場所：名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス北館 DN301

テーマ：東海学生 AWARD ~若者の熱い思いを大人が応援するイベント~

参加者：239名



⑤ 第21回マイコミュニティフォーラム in 広島

2019年12月7日(土) 13:00~16:55

場所：広島経済大学 明德館 アクティブラーニングcommons

テーマ：人間力 × 挑戦 ~変わりゆく社会、変えていく自分~

参加者：81名

【2019年のマイコミュニティフォーラム振り返り】

2019年のマイコミュニティフォーラムは、前年度からの継続で学生、特に「大学生」をターゲットに、「働く」＝「社会への貢献」、「会社」＝「社会の公器」という考えを伝え、彼らの就職意識や就労意識をポジティブに変えていくことをテーマとしています。

そして、マイコミュニティフォーラムを①若者が成長できる場、②社会に対する行動力の高い学生同士・社会人が交流できる場、③今はオフの若者がオンになるための刺激を得られる場とすることを旨とし、そのためのポイントとして次の施策を明示しました。

① 若者が成長できる場

→これまでのフォーラムで行ってきた学生プレゼンの強化＝社会人が指導することで若者のプレゼン能力や事業プランを成長させる

→各支部から最も成長した若者を全国大会へ送り出す

【若者のメリット】スキル向上、全国的な人的ネットワークの獲得、自身のやっていること・やりたいことのPR、優勝特典（名誉、賞品・賞金）

② 社会に対する行動力の高い学生同士・社会人が交流できる場

→U25 会員制度の新設、PICC 活動へのジョイン、若者の社会活動へ PICC 会員のジョイン

③ 今はオフの若者がオンになるための刺激を得られる場

→従来のマイコ（講演、パネルディスカッション、グループワーク等）、全国大会

また、新たな方向性として、2019年度 PICC 事業方針に沿い、以下の取り組みについても挑戦を始めました。

④ U25 会員を中心に、若者の社会への意識を高めるための手助けを行う。

→「社会にどのように貢献できる存在になりたいか？」 若者が志を持つことをサポートするためのベースづくりに取り組む。

U25 会員とは、25 歳未満の若者が PICC の活動に参加できるようにした特別会員制度です。各地で年 1 回開催するマイコミュニティフォーラムだけではその場限りの気付きで終わってしまうため、PICC の活動に参加してもらいながら継続フォローできるように 2018 年から新設しました。また、U25 の若者に PICC 会員となってもらうことで、マイコミュニティフォーラムの運営や集客にも関わってもらうことも期待しています。現在、全国で 35 名が登録しています。

初年度は PICC の定例会や委員会活動に参加してもらいながら、勉強や気付きの機会を見出してもらっていましたが、もともと PICC のイベントは経営者向けのもので、新たに U25 会員がこれから社会に出ていく前に知っておくべき、気付いておくべき情報や考え方を提供し、社会に出たときに活躍できる人材を輩出することを目指します。

具体的プランとしては、若者が自身の特徴を理解して、そこから志を明確にしていく手助けをすること、また公益資本主義の理論について学んでもらい、将来の就職観・労働観の育成に役立ててもらおうことなどを検討してまいります。

⇒マイコミュニティフォーラムの共通タイトル「YouthQuake」

2017年のオックスフォード英語辞書「今年の英単語」として選ばれた言葉です。

youth+quakeを（earthquakeのように）まとめた合成語。半世紀前から使われていますが、昨年複数のニュースメディアなどで使われるようになるなど、急速に注目が高まっています。日本でも今後、その影響を受けて広がることが予想されます。

「若者による社会的地殻変動」という意味合いで使用され、マイコミュニティフォーラムが目指す方向性ともマッチしているため、世話人からのアイディアで2018年からマイコミュニティフォーラムの共通タイトルとして採用しました。

【2020年のマイコミュニティフォーラムについて】

開始当初の試行錯誤を経て、2019年度は大学生をメインターゲットに、彼らの社会への関わり方や就職意識に気付きを与え、ゆくゆくは社会を良い方向に導く次世代のリーダーを輩出するためのベースづくりを全国で取り組んでまいりました。

共通タイトルとして掲げる「YouthQuake」の下、各地で関わる学生・協力団体とPICCができる若者支援の在り方を追求した結果、運営側も観覧者も生き生きと参加できる、地域の新たなコミュニティの一つとして、さまざまなスタイルが出来上がってまいりました。

その結果、関わる皆さんから「来年はこうしたい」「次は参加者ではなくスタッフとして協力したい」と、自発的な想いを多く聞けるようになってきていることから、2020年は本部主導ではなく、各地域主導で取り組んでまいります。

なお、全体のテーマやポイントはこれまでのものを継承し、新たに全国共有の目標としてフォーラムで知り合った若者を、世界青少年「志」プレゼンテーション大会へ送り出すことを掲げました。

2020年 MYCO テーマ 「公益資本主義」の次世代への継承

学生、特に「大学生」をターゲットに、「公益資本主義」が大切にしている在り方を伝え、彼らの就職意識や社会参加への意識をポジティブに変えていく。

2020年 MYCO 共通目標 世界青少年「志」プレゼンテーション大会へ送り出す

全国共通の目標として新たに、マイコミュニティフォーラムに参加した若者やU25会員を世界青少年「志」プレゼンテーション大会へ送り出すことを掲げました。

若者はこの取り組みに参加することで、人生で何をやるべきかを自覚し、それを公益のために実行する「決意」を持つことができます。また、プレゼンスキルの向上、全国的な人的ネットワークの獲得、自身のやっていること・やりたいことのPR機会、優勝特典（名誉、賞品、自信）等、普通の若者では手にし得ない、多くのものを入手できることを期待しております。

8. 2020年度のテーマ

2020年 PICC テーマ

「王道経営」を会員各社が実践する。

実体験した成長や気づきを共有し、一人でも多くの人に

伝えることで、PICCの仲間や賛同者を増やし、

地域に幸せの輪を広げる。

2020年 キーワードと目指すビジョン

本年のテーマを補足するため、キーワードと目指すビジョンは以下の通りです。

- キーワードは「Grow up with PICC」
- 目指すビジョンは、PICCは「成長」したい・させたい人が集まる場に！
 - 例えば学生やNPO、地域社会からは「PICCに成長のきっかけをもらった」
 - 例えば会員自身は「PICCの教えで成長できた」
 - 例えば世話人や協力団体からは「PICCを通じ成長を手助けができた」

2020年 重点課題・重点成長分野

このため、以下3点を2020年の重点課題とし、取り組んでまいります。

- ①「公益資本主義」実践に向けた学び
- ②「公益資本主義」実践目標を明確にし、確実に実行する
- ③成功事例を集め、効果的な伝え方を練り上げる

PICCビジョンの補足

公益資本主義推進協議会では創設以来、PICCビジョンとして「限界が見えてきた現資本主義に成り代わる、日本発の新しい資本主義＝公益資本主義を世界に発信し、地球益に貢献する」を掲げてきましたが、2020年度のテーマである「実践」を確実に行き、ビジョン実現につなげるためにPICC会員企業が、そのためにいま為すべきこととして、次の通り決めました。

「社会性をベースとした会社・事業を創出し、独自性のあるビジネスモデルに昇華させる。同時に、経済性も成り立つよう改良改善に挑戦する。その結果生まれた利益は、社員とその家族、取引先、顧客、地域社会、株主、つまり社中全体に公平に分配していくことで共存共栄を果たし、永年続く企業となることを目指す」。

PICC 会員の在り方

上記を為すため、PICC 会員の在り方、姿勢についても明示しました。

PICC は会員（企業経営者）同士、互いに協力することで成り立っている会である。「自分さえよければ」と、一方的にサービスを楽しむだけでは今以上の運営はできないし、十分な学びや気付きを得ることもできない。

「公益資本主義を広め、世の中を変えていく」。最終的には「地球益を実現する」という PICC ビジョンを実現するため、「自分に何ができるのか」「自分は何をすべきか」を考え実行していくことが、自己の、自社の、PICC 自体の成長につながる。

PICC は常にこの在り方をもって、事業に、PICC 活動に当たること。

PICC 2019 年度活動報告書

2020 年 4 月 9 日 発行

著 者 一般社団法人公益資本主義推進協議会

発行元 一般社団法人公益資本主義推進協議会 組織運営本部事務局

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 5-52-2 青山オーバルビル 14 階

電話 03-6826-1234

本書の内容の一部または全部を無断複写、複製、転載することを禁じます。